

実践『ペルソナ』通信 (No.10)
「実践女子大生の化粧事情」に関する調査結果
～外出するときの女子大生の化粧率は9割～

実践女子大学人間社会学部 「ペルソナ」研究会は、実践女子大学生を対象に、「女子大生の化粧事情」についてアンケート調査を実施しました。有効回答者数は50サンプルでした。

※実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学人間社会学部における「統計科学（担当：竹内光悦）」、「経営学（担当：篠崎香織）」、「マーケティング（担当：斎藤明）」の3つの分野のゼミ生を中心に組織され、自分たちの消費活動、ライフスタイルをはじめ「実践女子大生が自分たち自身」を科学する研究会です。

総括

今回の調査を通して、9割近くの女子大生が学校に行くときに化粧をしていることがわかった。また、一週間のうち5日から7日化粧をしている人が9割いるという結果になり、女子大生はほぼ毎日化粧をしているということがわかった。

フルメイクの定義は、ベースメイク、眉毛、アイメイク、チーク、リップの5つ全てをしていることと考える人が最も多く（77%）、時間がないときには最低でもベースメイクをして出かける人が最も多かった。

化粧にかかる時間は30分以下という人が9割、30分超えは1割にも満たなかった。

1年間で化粧品にかかる金額は5000円以上が6割という結果になり、その金額が妥当と考える人は6割という回答が得られた。

調査結果のポイント

(1) 学校に行くときに化粧をする人は86%

学校に行くときに化粧をするか尋ねたところ、86%が「していく」という回答であった。

(2) 1週間のうち5日以上化粧をするのが大半、3日以下は10%

1週間のうちどのくらいの頻度で化粧をしているかについて尋ねたところ、約週5日が54%と最も高く、次いで週7日が37%であった。週3日以下は10%という結果になった。

(3) フルメイクは5項目

「フルメイク」のがどのように構成されるかを尋ねたところ、ベースメイク、眉毛、アイメイク、チーク、リップの5つ全ての項目をフルメイクと考えている人が77%で一番多く、4項目を挙げたのは全体の12%という結果が得られた。

フルメイクを1~4項目で規定している人たちの選択した項目からアイメイクが外れる傾向が強く(50%)、眉毛とチークも外れる傾向がある(30%)。また、何か1つ化粧をするとなるとベースメイクが選択される可能性が高いことがわかった。

(4) 時間のない時に化粧をする項目は通常の半分程度

ベースメイク、眉毛、アイメイク、チーク、リップの5つ全ての項目をフルメイクと考えている人を対象に、時間がないときにはどの程度化粧をして出かけるかを尋ねたところ、5項目のうち3項目化粧をして出かける人が42%であった。時間がないときにそれでもフルメイク(5項目)をして出かける人は少ないことがわかった。

(5) 化粧にかける平均時間は30分以下が9割

化粧に平均どのくらいの時間をかけているかを尋ねたところ、16~30分の人62%と最も高く、次いで5~15分の人24%、5分以内の人7%であった。30分超は7%と低い結果であることから、化粧にかける時間はさほど長くないことがわかった。

(6) 大学生から化粧をするようになった人が4割、化粧への関心が出てくるのは中学生から

いつから化粧をするようになったかを尋ねたところ、大学生からと回答した人は42%と最も高かった。小学生からと回答した人はいなかったが、中学生から徐々にその割合が高くなっていき、大学生になるまでには6割の人が化粧をしていることがわかった。

(7) 化粧をするようになったきっかけは、「周りが化粧をしていたから」が5割

化粧をするきっかけは何かを尋ねたところ、「周りが化粧をしていたから」が49%と最も割合が高かった。逆に、「人に言われたから」は9%と低く、自分の意思で化粧をするようになる人が多いことがわかる。

(8) 1年間で化粧品にかける金額は5000円以上が6割

1年間でどのくらい化粧品にお金をかけているかを尋ねたところ、5000円以上かけている人は60%であった。5000円未満は40%という結果が得られた。

(9) 自身が1年間で化粧品にかける金額が妥当と考える人が6割

自身が1年間で化粧品にかける金額が妥当だと思うかを尋ねたところ、56%が「妥当」と回答した。「安い」と思っている人は26%である一方で、「高い」と思っている人は7%と低かった。

(10) バイト時に化粧をする人が50%

学校に化粧をして行かない人を対象に、どのような時に化粧をするかを尋ねたところ、バイトに行く時にする人が43%と最も高く、次に友達と遊ぶ時にする人が29%、イベント・ライブとその他が同率で14%という結果が得られた。

調査結果について

<調査概要>

1. 調査対象：実践女子大学渋谷キャンパス在学生
2. 調査方法：質問紙によるアンケート
3. 調査期間：平成 27 年 6 月 22 日(月)～平成 27 年 7 月 6 日(月)
4. 有効回答者数：50 名
5. 回答者の属性：【実践女子大学生：学年】3 年生：100%

【本調査担当チーム】

実践「ペルソナ」研究会

3 年 駒崎朝美

3 年 石田愛理

3 年 森悠紀

3 年 圓谷真奈美

(1) 学校で化粧をする人は86%

化粧をしない人は14%と圧倒的に化粧をする人が多いことがわかった。女子大だからと化粧をしない人も多いかもしれないと考えたが、そうでもないという結果であった(図1)。

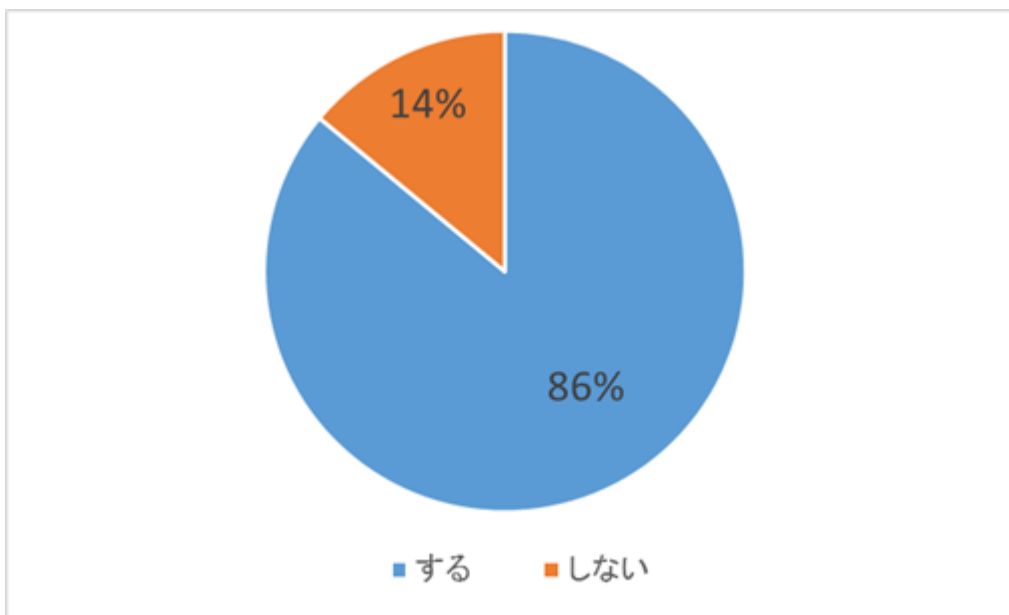


図1. 学校に行くときに化粧をするかどうか (N=50)

(2) 化粧の頻度を調査した所、ほぼ毎日する人が全体の53%

化粧をする頻度については、毎日する人が37%でそれ程多くないことがわかった。また、週の半分はする人は7%、ほとんどしない人は2%であった。このことから、全体的にほぼ毎日化粧をしていることがわかった(図2)。

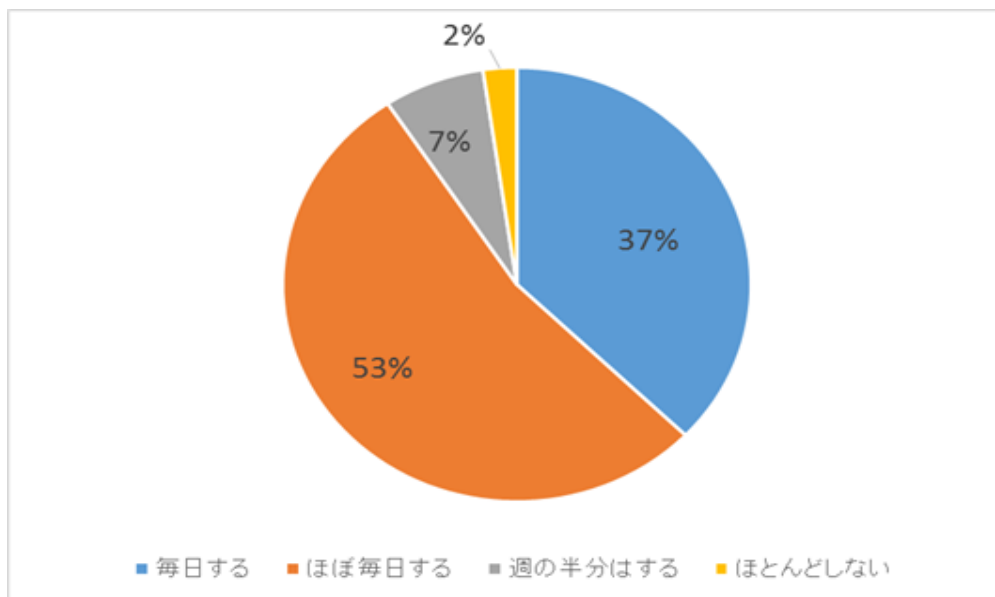


図2. 化粧の頻度 (N=43)

(3) 5つ全ての項目をフルメイクと考えている人が77%

「フルメイク」がどのような項目で規定されているのかを尋ねたところ、ベースメイク、眉毛、アイメイク、チーク、リップの5つ全ての項目をフルメイクと考えている人が77%で一番多かった。次いで、その中の4つの項目を挙げた回答者は全体の12%だった。3つは9%、2つは0%、1つは2%という結果が得られた（図3-1）。

フルメイクが5つの項目で構成されていない人たちは、アイメイクが外れる傾向が強い（50%）。さらに眉毛とチークも外れる傾向がある（30%）。何か1つ化粧をするとなるとベースメイクが選択される可能性が高いことがうかがえる（図3-2）。

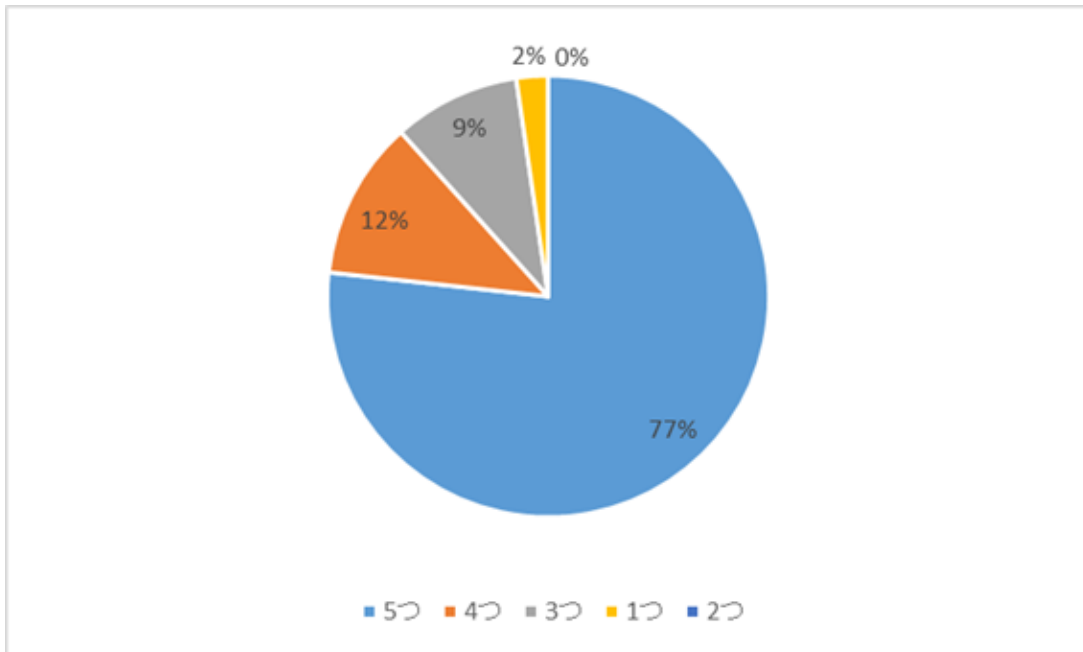


図3-1. フルメイクの定義 (N=43)

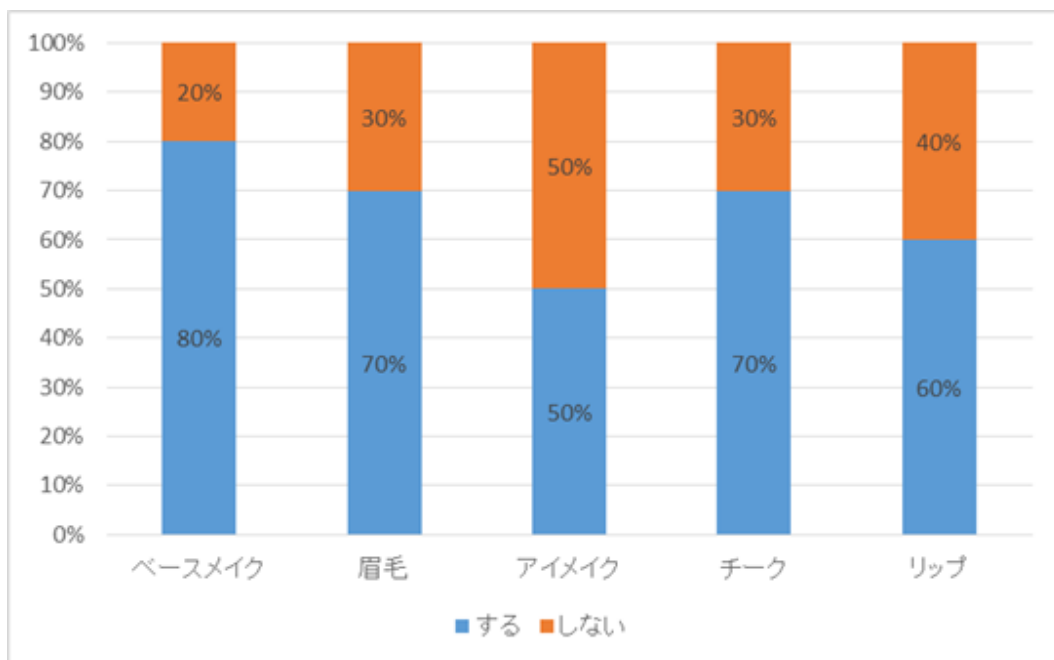


図3-2. フルメイクの定義が4パーツ以下の人 (N=10)

(4) 時間のない時に化粧をする項目は通常半分程度

ベースメイク、眉毛、アイメイク、チーク、リップの 5 つ全ての項目をフルメイクと考えている人を対象に、時間がないときにはどの程度化粧をして出かけるかを尋ねたところ、5 項目のうち 3 項目化粧をして出かける人が 42%であり、高い割合を占めていることがみてとれる。次いで、1 項目と回答した人が 18%となり、時間がないときにはベースメイクのみで出かける人がいることがわかった。時間がないときにフルメイク（5 項目）で出かける人は少ないといえる（図 4）。

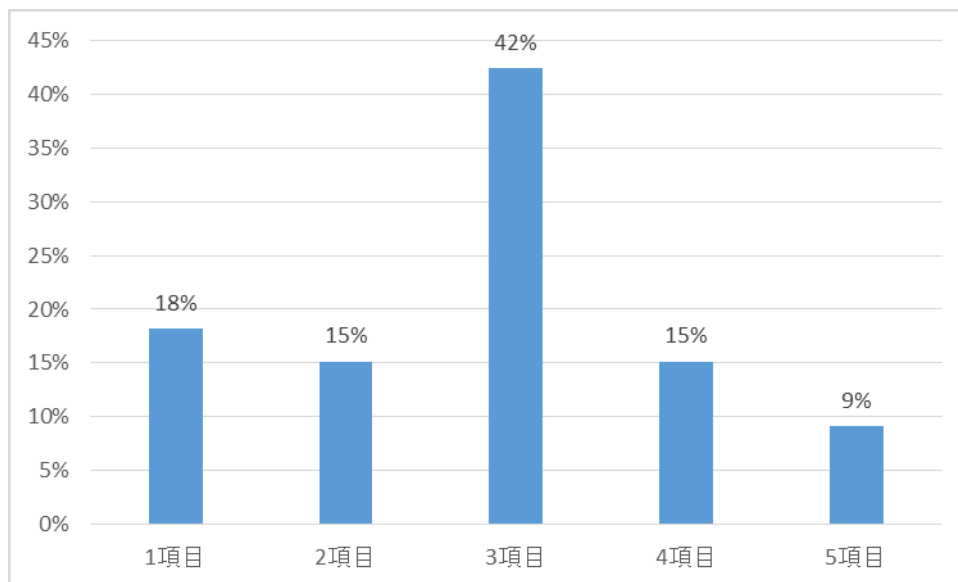


図 4. 通常フルメイク（5 項目）の人が時間のない時に化粧をする項目数（N=33）

(5) 化粧にかかる平均時間は 5 分～15 分が 62%と圧倒的に多い

化粧にかかる平均時間は、5 分～15 分が 62%で一番多い。次いで、16～30 分と回答した人が 24%、同率で 5 分以内と 31～45 分と答えた人が 7%、46 分～1 時間と 1 時間以上は 0%と、46 分以上はメイクに時間をかけない人が多いことがわかった（図 5）。

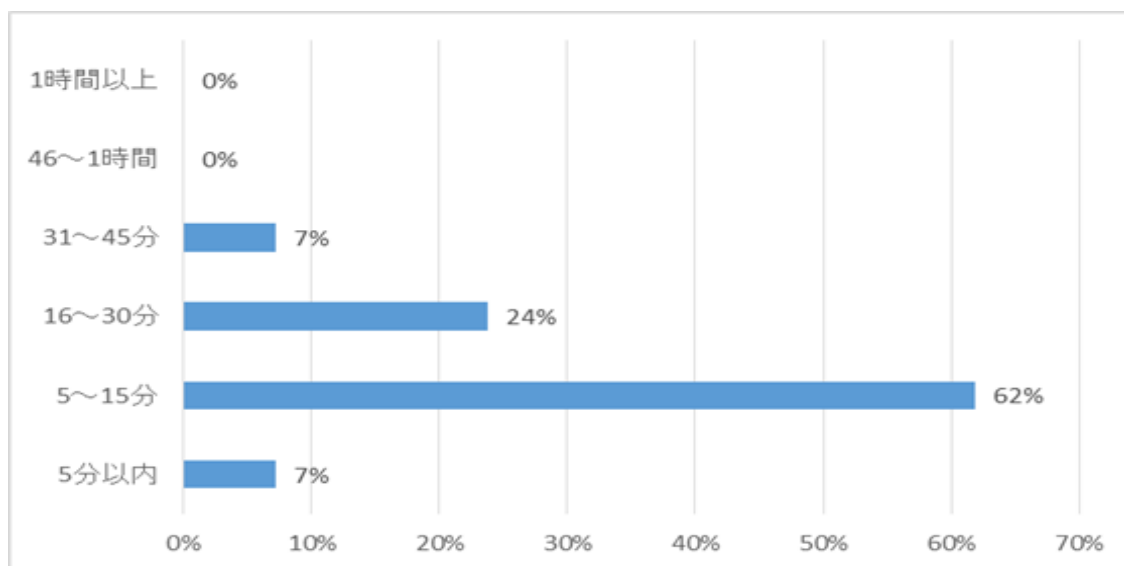


図 5. 化粧にかかる平均時間（N=42）

(6) 化粧を始めた時期は大学生 42%

化粧を始めた時期は大学生が 42%で圧倒的に多いことがわかった。高校生になって始めたのは全体の 32%、中学生から始めたのは 26%であった。大学生や高校生から化粧を始める人が多いのかと予想していたが、中学生から始めた人は 4人に1人の程度でいることがわかった(図6)。

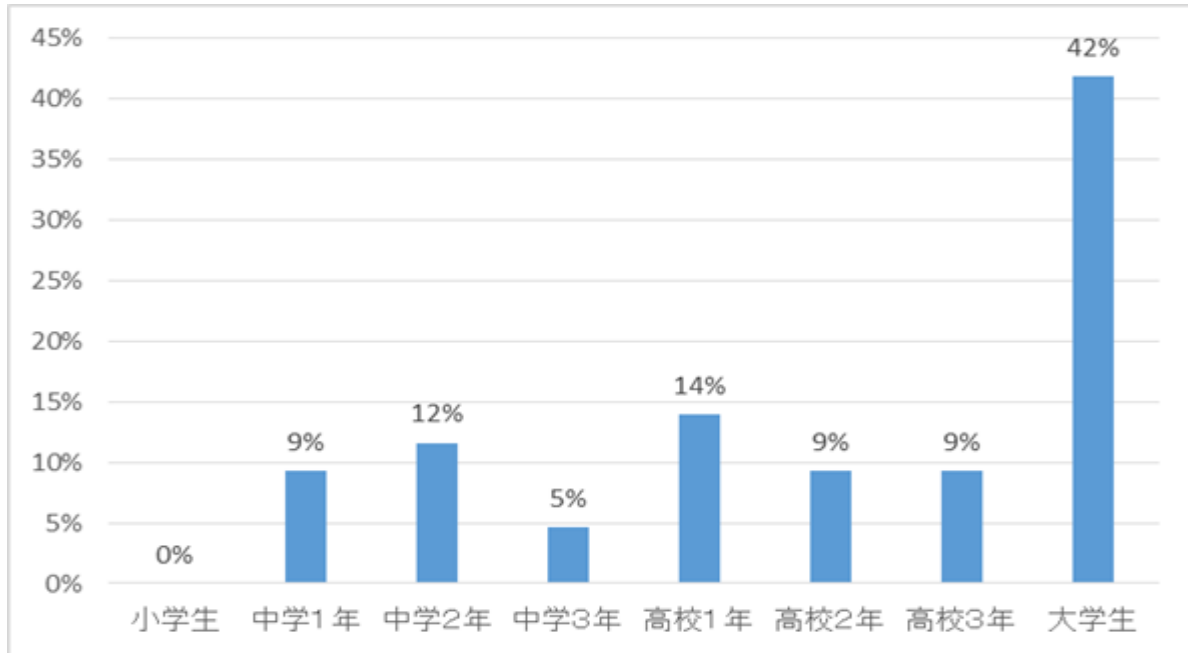


図6. 化粧をするようになった時期 (N=43)

(7) 化粧をするようになったきっかけは周りの影響が大きい

化粧をしたきっかけを尋ねたところ、全体の半数である 49%の人は周りが化粧をしていたから化粧をするようになったということがわかった。興味があったからという回答が 21%、可愛くなりたいと思ったからという回答が 19%であった。このことから、周りに影響されて化粧を始める人がかなりいることがわかった(図7)。

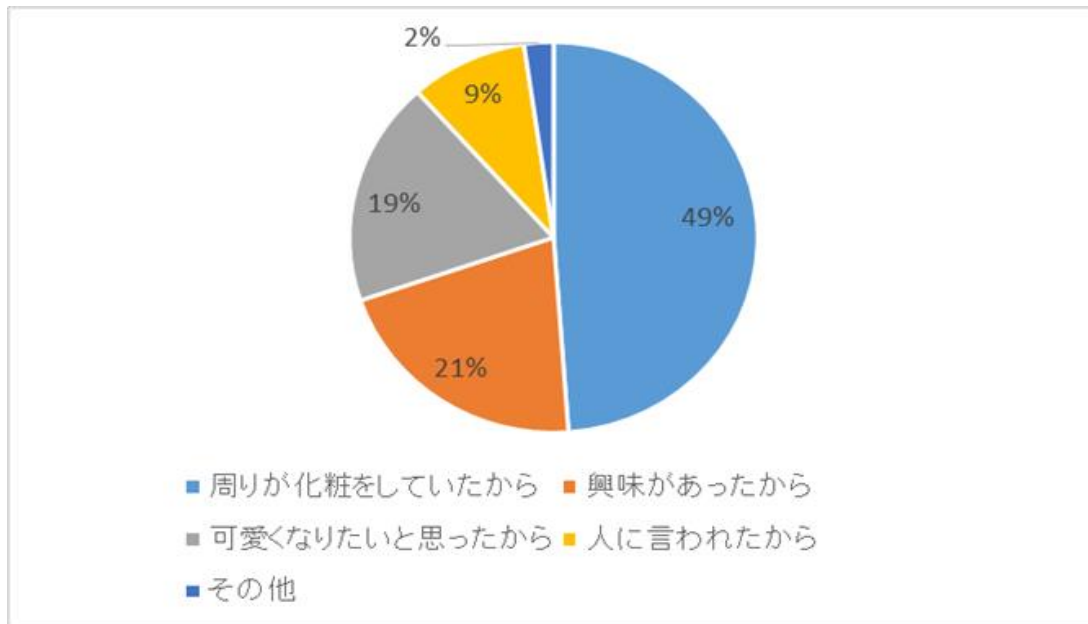


図 7. 化粧をするようになったきっかけ (N=43)

(8) 化粧品にける金額は 5000 円以上が 6 割

1 年間に化粧品にける金額を尋ねたところ、5000 円～8000 円未満が 23%、8000 円～1 万円未満が 16%、1 万円以上が 21%であった。化粧品購入に 5000 円以上かけている人が全体の 6 割であることがわかった (図 8)。

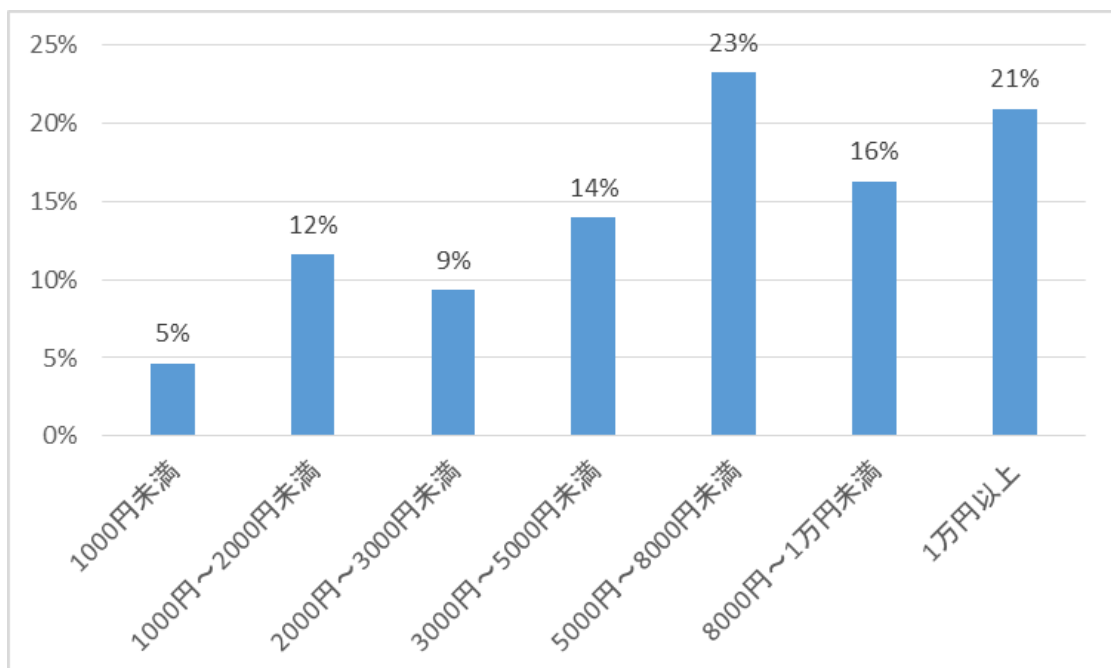


図 8. 化粧品にける金額はいくらか (N=43)

(9) 化粧品にける金額は「妥当」もしくは「安いくらい」だと感じている人が5割

現在の化粧品にかけている金額は妥当であるか尋ねたところ、全体の56%が妥当と回答した。また、26%が安いと回答し、高いと答えた人が7%という結果となった。ここから、現在の化粧品の値段に満足している人が多いことがわかった（図9）。

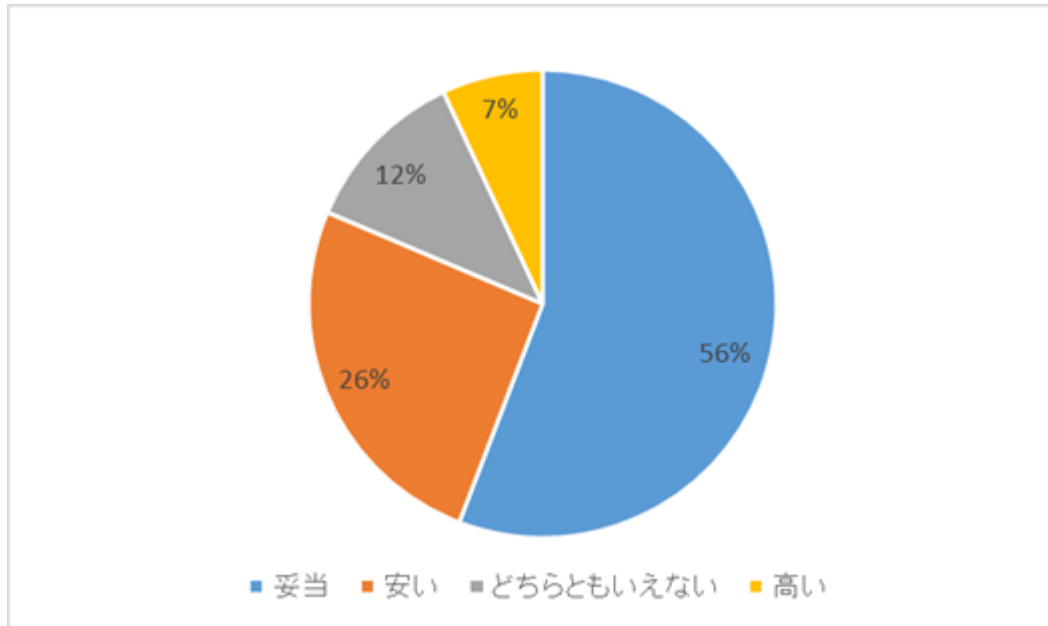


図9. 化粧品にける金額は妥当かどうか（N=43）

(10) バイト時に化粧をする人が多い

Q1で、学校に行くときに化粧をしないと答えた人を対象（14%）に、どのような時に化粧をするか尋ねたところ、43%がバイト先と回答し、最も多いことがわかった。友達と遊ぶときと回答した人が29%、同率でイベント・ライブ、その他が14%となり、デート・冠婚葬祭は0%であった。

対象者はわずかであるが、行先ごとに化粧をするかしないかを聞いた結果から、女子大生の中には「大学」と「バイト先」といった行き先に向ける意識に違いがある人もいる様子が見えてくる（図10）。

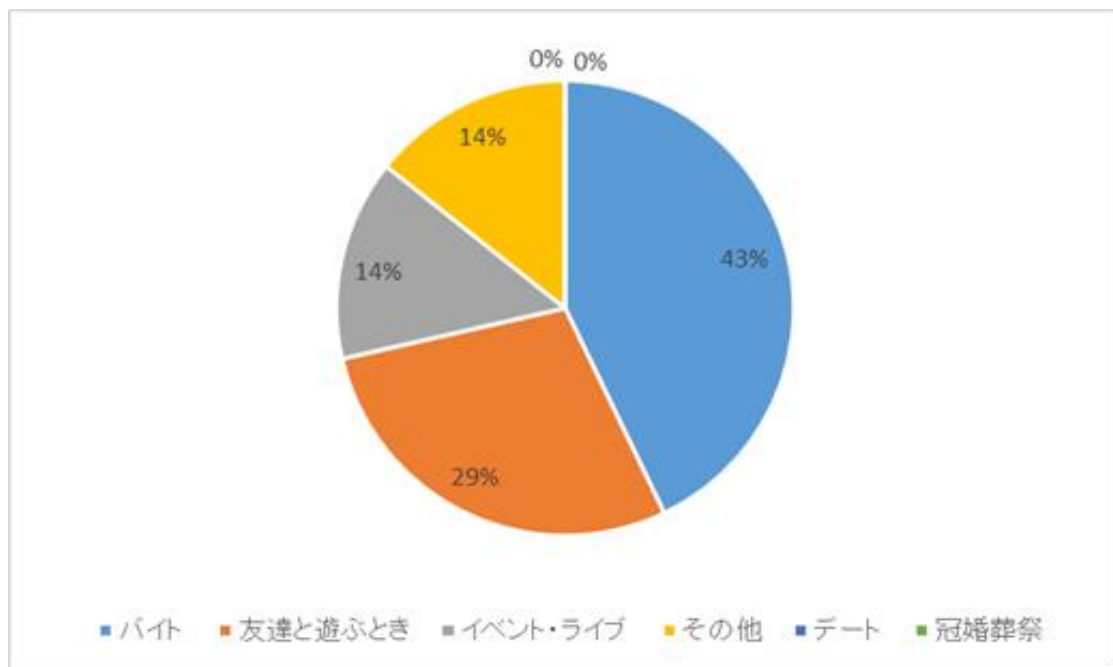


図 10. どのようなときに化粧をするか (N=7)